

「青森市財政プラン（2019～2023）」の概要

「青森市総合計画前期基本計画」を着実に推進し、持続可能な財政運営を行っていくため、指針を改定。

（1）本市の財政状況及び中期財政見通し

- ◇ 新市庁舎の規模圧縮などにより、財政プラン 2016 における基金残高や市債残高と比較し改善した。
- ◇ しかしながら、社会保障費や除排雪経費などの増に対応するため、引き続き財政規律を堅持する必要がある。

（2）財政目標の設定

- ◇ 中期財政見通しを踏まえて、財政運営を安定的に行うための目標を設定。

財政目標①：令和 5 年度末における財源調整のための 3 基金残高 50 億円の確保

財政目標②：市債発行額の抑制による市債残高の縮減

（3）財政の健全性確保対策（予算要求枠へのシーリングの設定と市債発行額の抑制）

- ◇ 裁量的経費・投資的経費はマイナスシーリング。
- ◇ 投資的経費のうち市民生活密着分*は前年度以内。

※道路の舗装・側溝、市営住宅及び公園遊具等の修繕など

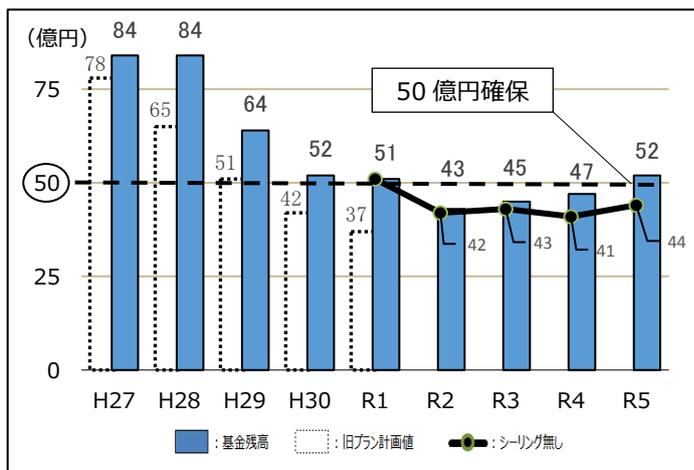
一般財源ベース
(義務的経費除く)

【R1 当初予算】

裁量的経費	【R2 予算要求枠】 前年度 90%以内
投資的経費(単独)	前年度 90%以内
投資的経費(補助)	前年度 95%以内
一般管理・施設管理	前年度以内

（4）中期財政計画

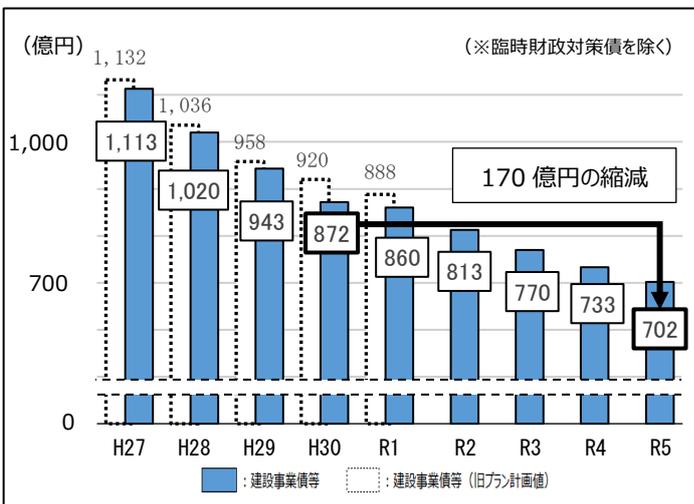
【グラフ①】財源調整のための 3 基金残高の推移



財源調整のための 3 基金残高

- ◇ 新市庁舎の規模圧縮、豪雪等に対する特別交付税の確保などにより、財政プラン 2016 の年度毎の基金残高を上回っている。
- ◇ しかしながら、今後も社会保障費の増加や本格化する青森駅周辺整備事業など引き続き多くの財政需要が見込まれる。
- ◇ 毎年度の予算編成のための一定額の確保と、災害の発生等による不測の事態に備え、令和 5 年度末に財源調整のための基金を 50 億円確保する。

【グラフ②】市債残高の推移



市債発行額の抑制による市債残高の縮減

- ◇ 新市庁舎の規模圧縮などの取組により、財政プラン 2016 における年度毎の市債残高より縮減している。
- ◇ しかしながら、本市の財政規模に対する市債残高は全国の類似団体と比較して多い状況となっている。
- ◇ 新たに市債を借り入れる場合には既存の市債の償還額も考慮して、市債発行額をコントロールしながら着実に市債残高の縮減を図る。